



《ピオトープ》 30号 594,000円

人工的で囲まれた池でも、生き物は変わらず美しい

藤野麻由羅 日本画展

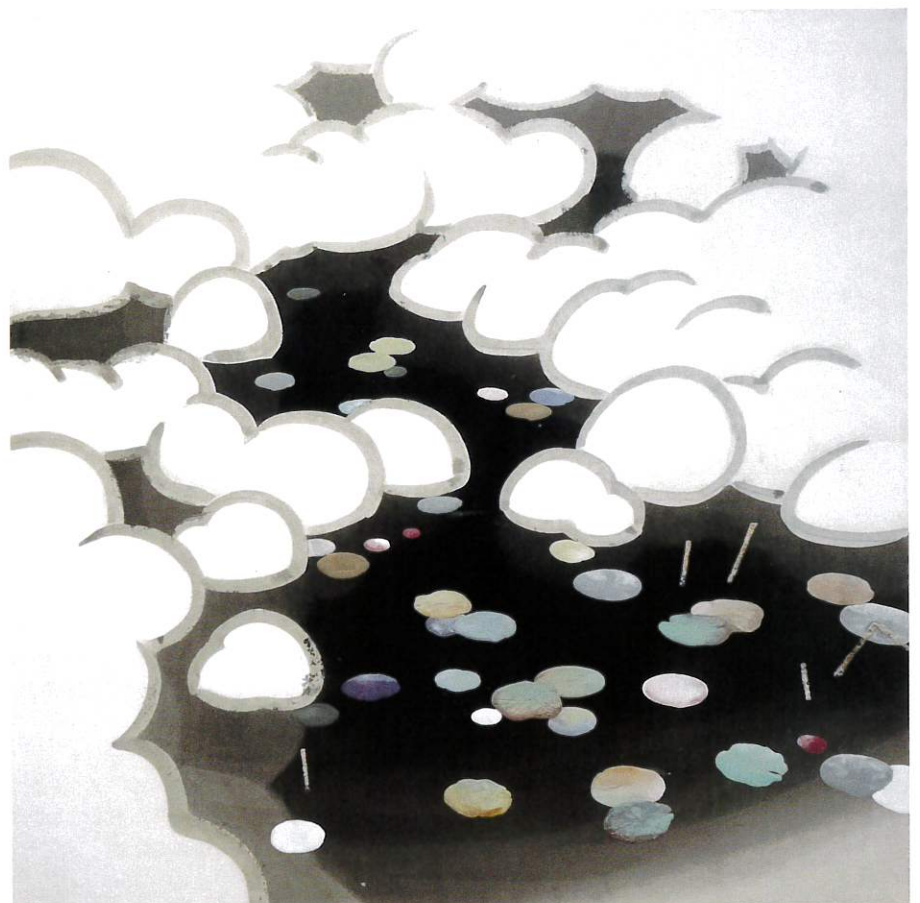
～ 回遊庭園 ～

会期：12月7日(水)～12月13日(火)

※最終日12月13日(火)は当会場のみ午後4時に閉場いたします。

会場：西武池袋本店 6階(中央B7)＝アートスペース

お問い合わせ：03(5949)5348<直通電話>

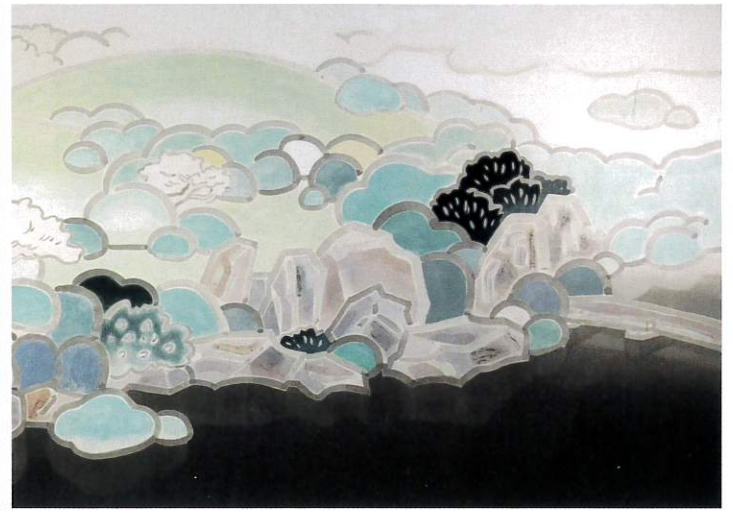


《冴える夜の》 50号S 770,000円

冬の冴えた朝、雪の下はあたたかく、
かすかな生き物の色があります

FUJINO, MAYURA EXHIBITION

DEC.7(WED) - 13(TUE) 2022



《回遊庭園》100号対 2,750,000円 　　くると黒く静かな池に囲まれた蓬莱山は向こうの世界のようです



《ぶかり》3号 99,000円

植物に人間らしさやゆったりした時間の流れを感じます。とても静かで劇的ではない変化を描くのに、岩絵具の自然の色がとても心地よく感じます。

天然の鉱物には限られた色しかありませんが、自分が思う色を求め、ないものはないと諦めてみるとどこかシンプルさが見えてきます。そういう中で、モチーフもまた余計なものはないように、なるべくシンプルになるように選ぶようになりました。日本庭園はどこか懐かしく、愛嬌もあり、潔い美しさがあるように感じています。

お庭をくると一周するようにご覧いただけましたら幸いです。



《ピオトープ》40号 704,000円 　　ゆらゆらと動く、なにか住んでいる



《石の庭》3号 99,000円

藤野 麻由羅

FUJINO MAYURA



- 1981年 神奈川県出身
- 2006年 女子美術大学大学院 美術研究科修士課程日本画研究領域修了
佐藤国際文化育英財団14期奨学生
- 2007年 女子美術大学日本画専攻専任助手(～'11)
第34回 創画展 以降毎年('15奨励賞、'16創画会賞)
第36回 東京春季創画展 以降毎年(春季展賞'10'14,'17,'18)
- 2016年 「Will+s 展 2016」以降毎年(西武池袋本店 '20Will+s 展賞)
- 2017年 「女子美術大学同窓会100周年記念展」大村智賞
- 2019年 「fantastic five」(伊勢丹新宿)
- 2020年 「MAYURA FUJINO」個展(アトスペース羅針盤)
- 2021年 「佐藤国際文化育英財団第30回奨学生美術展」招待作家(佐藤美術館)
- 2022年 「現在日本画研究会展」(日本橋アンペルギャラリー、京都市立美術館)

現在 女子美術大学日本画研究室 非常勤講師
女子美術大学短期大学部美術コース 非常勤講師
創画会准会員